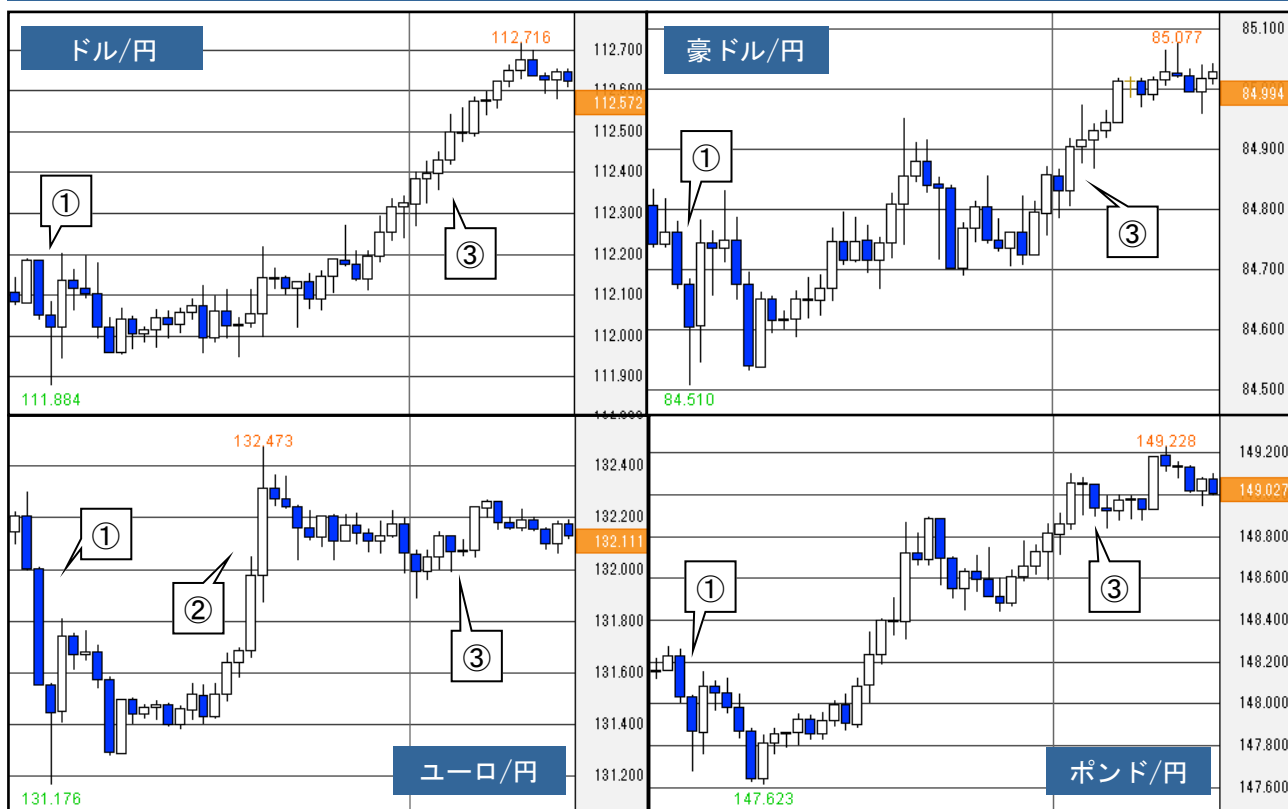


主要通貨の日々の推移をわかりやすく解説し、今後の見通しをお届けします。

11月21日(火曜日)
ドル/円・豪ドル/円
ユーロ/円・ポンド/円

ドル/円の反発は「揺り戻し」か

20日(月)の為替相場



期間：20日(月)午前7時00分～21日(火)午前6時55分 ※チャートは30分足(日本時間表示) 出所：外為どっとコム

- ① ドイツのメルケル首相が進めてきた連立協議が決裂した事が伝わると、ユーロが急落した。9月の独総選挙で第1党となるも過半数議席を確保できなかった首相率いるキリスト教民主・社会同盟(CDU・CSU)は、自由民主党(FDP)と緑の党による3党連立を模索してきたが、難民・移民政策などで妥協点が見出せず協議が決裂。メルケル首相の4期目続投に黄信号が灯ったとの見方からユーロ売りが活発化した。ユーロ/円の下げにつれてドル/円や他のクロス円も弱含んだ。
- ② 独国債への逃避的な買いが弱まり長期金利の低下が一服するとともに、独DAX指数も下げ渋る中、ユーロを買い戻す動きが強まった。その後、シュタインマイヤー独大統領は「再選挙回避へ合意を見出すよう政党に促す」と述べて連立協議の継続を呼びかけた。
- ③ 米国株が前週末の下げの反動もあって堅調に推移し、米長期金利も上昇する中、ドル/円やクロス円は買いが優勢となった。ただ、メルケル独首相が「少数政権を率いるより、再選挙実施が好ましい」との考えを示した事でユーロ/円は上値が重かった。

20日(月)の株・債券・商品市場

日経平均	豪ASX	上海総合	英FT	独DAX
22261.76 ▼135.04	5945.671 ▼11.583	3392.399 △9.492	7389.46 △8.78	13058.66 △64.93
NYダウ	日10年債	豪10年債	英10年債	独10年債
23430.33 △72.09	0.0380% △0.0020	2.543% ▼0.030	1.292% ▼0.003	0.363% △0.003
米2年債	米10年債	NY原油	NY金	
1.7505% △0.0291	2.3666% △0.0231	56.09 ▼0.46	1275.30 ▼21.20	

外為注文情報(ドル/円)

Sell	Rate	Buy
113.05		
113.00		
112.95		
112.90		
112.85		
112.80		
112.75		
112.70		
112.65		
112.60		
112.55		
112.50		
112.45		
112.40		
112.35		
112.30		
112.25		
112.20		
112.15		
112.10		
112.05		

本日の見通し

予想レンジ	ドル/円	ユーロ/円	豪ドル/円	ポンド/円
	111.700-113.100	131.000-132.700	84.300-85.400	148.100-150.100

【ドル/円】

昨日のドル/円は112円台後半へと反発。朝方にはユーロ/円の下げにつれて一時111.80円台まで下落したが下値は堅かった。その後、NY市場では米長期金利の上昇や株高を支えに112.70円台まで切り返した。ただ、日足ベースでは5日移動平均線に沿って上値が切り下がる展開が続いている。昨日の反発は前日(17日)の下落の「揺り戻し」に過ぎず、下値固めが終了したとは言いきれない。下げ止まりの判断には、少なくとも日足一目均衡表の転換線(執筆時112.976円)の回復が必要であろう。もし早期に回復できなければ、一目均衡表の雲入り(同111.940円)や200日移動平均線(同111.749円)割れを試す展開となってもおかしくないだろう。

執筆者: 神田

本日の注目イベント

※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示

日本時間での表示

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表	市場予想
11/21(火)	09:30	○	(豪) RBA議事録	--	--
	18:05	○	(豪) ロウRBA総裁、講演	--	--
	18:30		(英) 10月財政収支	-53億GBP	-65億GBP
	19:00		(英) カンリフBOE副総裁、マカファーティ、サンダース、ブリハ、各MPC委員が議会証言	--	--
	24:00		(米) 10月中古住宅販売件数	539万件	540万件
	24:00		(ユーロ圏) クーレECB理事、講演	--	--

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご承願いたします。